

## 1 目的

### (1) 豊かな心を育む活動

- ・合唱発表会での表現活動などを通して、感性を豊かにし、表現することの喜びを味わわせます。
- ・専門家や地域の人材を活用して、林間学校をより充実した活動にしたり、学校田畑を生かした学習や食育を展開したりします。
- ・特別支援学級において、音楽療法を取り入れ、児童の情操を育むだけでなく、教師もその指導技術を学ぶことで指導力の向上を図ります。

### (2) 自分の命は自分で守る子を育てる活動

- ・自然災害や人災、大地震に備え、さまざまな状況を想定した訓練や、発達段階に応じた防災学習を行い、子どもたちの防災意識を高めるとともに、教師側も学校防災について見直す機会をもちます。
- ・交通事故や不審者から身を守る方法を身につけたり、事故や犯罪に巻き込まれないようにしようとする意識を高めたりしながら、自分の命は自分で守ろうとする態度を育成します。

### (3) 主体的・対話的で深い学びを目指す学級作り、授業作り活動

- ・主体的、対話的で深い学びを実現すべく、その土台となる学級作りでは、どの子も安心して生活が出来るよう Q U による学級改善を行う一方で、授業改善では一学年一研究授業への取組、算数における外部講師の招聘などを行い、学力向上につなげていきます。

## 2 内容

### (1) 豊かな心を育む活動

#### ア 合唱発表会

2年目を向かえた合唱発表会は、体育館の吊り天井工事の影響で、開催が11月から1月となりました。それでも全校合唱や各学年の発表曲の練習は5月から始まりました。音楽の時間だけでなく毎日の朝の合唱練習は、児童の心を豊かにするよい機会となりました。



合唱発表会の様子

#### イ 学校田畑を生かした学習

ビオトープを改良して作った田んぼでは、今年も農家の青年部の方々やJA海部東営農センターの方々の力をお借りして、5年生による田植えや稲刈り、脱穀や粃すりを行い、約7kgのお米を収穫しました。その隣の畑では2年生がサツマイモを栽培し、植え付けやサツマイモ掘りを行い、最後は石焼き芋にして味わいました。



サツマイモ掘りの様子

#### ウ 特別支援教育の充実

音楽療法士の若山先生を講師に招き、毎月2回ずつ年間で20回の音楽療法をここ数年行っています。伊福小の特別支援教育の特色でもあります。自分の殻に閉じこもりがちな児童は、この音楽療法を続けることで、気持ちが楽になり、明るく元気になりました。新たな自分の発見にもつながっています。

## (2) 自分の命は自分で守る子を育てる活動

### ア 防災教育

防災教育については、あま市防災ネットワークボランティアやママ・ぷらす、日本赤十字社愛知県支部などと連携して、防災教室、キッズ防犯、AED心肺蘇生法講習会など、各学年に応じた防災・防犯教育プログラムを展開しました。

### イ 避難体制の充実

年4回行う避難訓練で気付いたこととして、職員間の連絡手段が携帯電話だけでよいのかという不安から、トランシーバーの購入を勧めております。毎年少しずつ増やし、現在8台まで増やしました。まだ必要な係の台数までは後2台ほど足りませんが、災害時の混乱した状況の中で、瞬時に互いが情報共有できるよいツールがあることで、避難体制の充実が図られています。

## (3) 主体的・対話的で深い学びを目指す学級作り、授業作り活動

### ア QUを取り入れた学級作り

主体的・対話的で深い学びを実現させるためには、よい学級集団であることが前提となります。そのためにQU調査を行い、各学級の状況を把握し、担任による学級への関わり方、個々の児童への関わり方を反省し、よりよい人間関係作り、学級集団作りに取り組みました。今後はこの事業で講師を呼び、年間複数回の勉強会を開催し、充実を図っていきたいと思います。

### イ 授業改革をめざす活動

日々の授業改善として、主体的・対話的で深い学びを実践すべく、一学年一授業研究授業に取り組みました。9月からは元名古屋女子大学講師の鈴木公司先生を招き、算数の授業改革に取り組みました。若手教師の授業指導を中心に進め、鈴木先生による模範授業も公開していただきました。一連の研修が成果となって日々の授業が少しずつ改善されています。



模範授業の様子

## 3 評価

- ・1年間の朝の合唱練習を通して、自己表現力、歌唱力などの向上とともに、豊かな心を育みました。
- ・専門家や地域の人材を活用し、専門的な立場から指導を受けることにより、質の高い食育や林間学校、防災教育を展開することができました。
- ・授業改善と学級経営という2つの柱で研究を進めたことにより、担任の児童を見取る力、日々の授業力が向上しました。音楽療法では、歌やダンス、読み聞かせや楽器演奏などを通し、児童一人一人の心の解放につながりました。

## 4 課題

- ・本校の防災・防犯等の総合的な安全教育の充実のために、PTA主導で作っているハザードマップについて、ホームページに載せたり、学校に掲示したりするのに留まっている活動を充実させるために、本事業に組み込み、地域や全家庭に配付していきます。
- ・主体的・対話的で深い学びを実現するための環境整備として、ユニバーサルデザインの観点から、どの子も確認できる「見えるタイムタイマー」を全学級揃えて、集中して学習できる環境を整えていきます。

